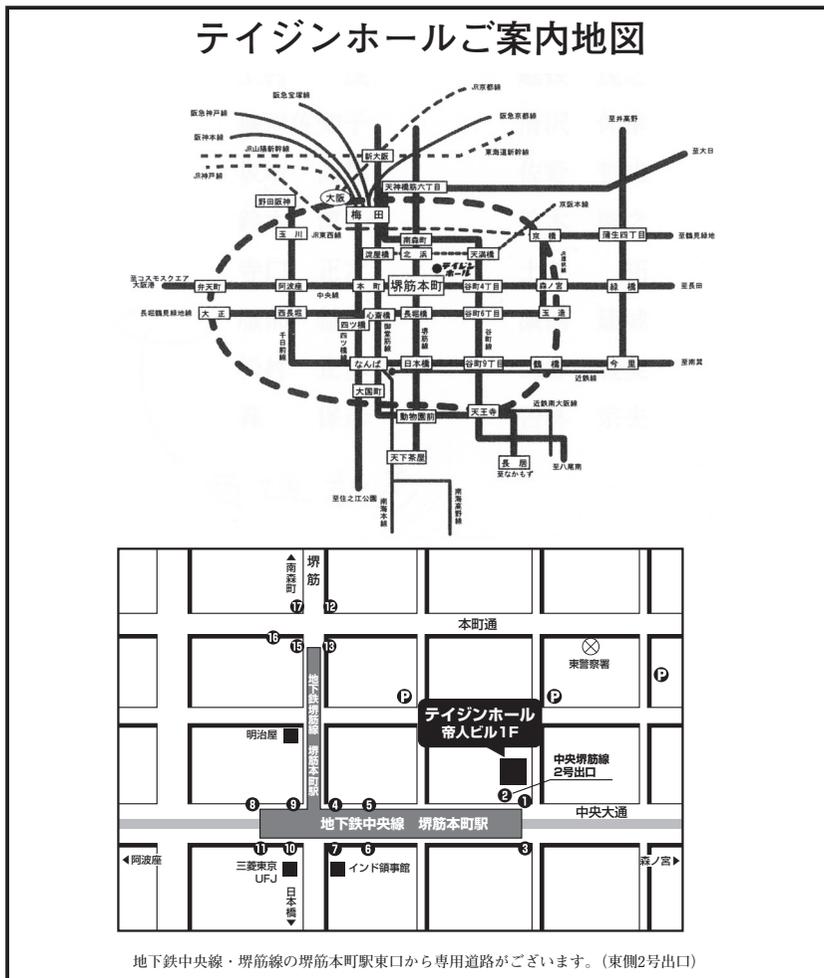


# 第39回 近畿川崎病研究会

日 時：2015年3月7日(土)  
12:50～19:30

会 場：テイジンホール  
大阪市中央区南本町1丁目6番7号  
TEL 06-6268-3131



共 催 近畿川崎病研究会  
帝人ファーマ株式会社

# —近畿川崎病研究会—

## 第39回 会長

片山 博視

## 運営委員長

濱岡 建城

## 運営委員

|       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 石田 明人 | 越後 茂之 | 荻野廣太郎 | 小澤誠一郎 |
| 片山 博視 | 萱谷 太  | 城戸佐知子 | 清澤 伸幸 |
| 小垣 滋豊 | 米田 正始 | 坂崎 尚徳 | 佐野 哲也 |
| 篠原 徹  | 清水 達雄 | 白石 淳  | 鈴木 啓之 |
| 宗村 純平 | 津田 悦子 | 寺口 正之 | 土井 拓  |
| 西垣 和彦 | 服部 益治 | 馬場 志郎 | 濱岡 建城 |
| 廣田 常夫 | 深谷 隆  | 松村 正彦 | 三谷 義英 |
| 水戸守寿洋 | 三宅 俊治 | 村上 洋介 | 山川 勝  |
| 吉澤 弘行 | 吉林 宗夫 |       |       |

## 特別顧問

川崎 富作

## 顧問

尾内善四郎 北村惣一郎 横山 達郎

## 名誉会員

上村 茂 川島 康生 鈴木 淳子 田村 時緒  
森 忠三

## 事務局 京都府立医科大学 小児循環器・腎臓科

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

TEL 075-251-5832

ホームページ <http://www.kinki-kawasaki.jp/>

E-mail [kkjim1981@kinki-kawasaki.jp](mailto:kkjim1981@kinki-kawasaki.jp)

# —お知らせとお願い—

## 1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後 12 時 50 分です
- (2) 参加費は 1,000 円です  
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。  
(年会費は 3,000 円です)
- (3) 本会の日本小児科学会認定医研修単位は、4 単位となっています。
- (4) 本会の日本小児循環器学会認定医研修単位は、8 単位となっています。

## 2. 演題発表について

- (1) ご講演は、PC プレゼンテーションのみとなります。タブレット PC、iPad などでの講演はできません。
- (2) 講演時間は、発表 6 分（討論 3 分）  
要望演題は 発表 8 分（討論 4 分）です。
- (3) ご発表予定時間の 1 時間前までに、USB メモリ(ご発表データのみを保存)をホール 1 階「データ受付」にお持ちいただき、受付をお済ませください。
- (4) ご発表内容が動画を含む場合は、必ずご自身の PC 本体でデータをご持参ください。
  - ・会場で用意するコネクタの形状は D-sub15 ピンのみです。
  - ・AC アダプターは必ずお持ちください。
- (5) ご発表データは、Windows、Macintosh ともに Power Point で作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用 OS（データ作成時）は以下のもので作成ください。  
Windows : X P、Vista、Win-7、Win-8  
Macintosh : O S X
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。  
Windows : PowerPoint 2003、2007、2010、2013 に対応  
Macintosh : PowerPoint 2004、2008、2011 に対応
- (8) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (9) ファイル名は、プログラム No と演者のお名前を入れて作成ください。  
例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名 : 14 近畿.ppt
- (10) 講演終了後、舞台袖において、お預かりした USB メモリおよび PC 本体をご返却いたします。
- (11) 講演内容は、Progress in Medicine 7 月号(ライフ・サイエンス)に記録として掲載いたします。

※ 後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします。

【執筆要領】 400 字原稿用紙で 12 枚以内（図表は別）

【原稿〆切】 2015 年 5 月 1 日（予定）

【問合せ先】 (株) ライフ・サイエンス 奥畑 現

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

開会の挨拶

12:50 ~ 12:55

第39回会長 片山博視 (大阪医科大学附属病院 小児科学)

セッション I (急性期)

12:55 ~ 13:31

座長 吉村 健 (関西医科大学 小児科学講座)

1. 生後1か月半で発症した川崎病の一例

関西労災病院 小児科

五味久仁子 指原淳志 泉 裕

2. 急性期 CRP 低値で経過した川崎病男児例

独立行政法人京都医療センター

北 誠 阿水利沙 石塚哲也 黒須英雄 河田 興  
浅井康一 秋山祐一

3. 川崎病急性期における凝固線溶系の推移

金沢医科大学病院 小児科

橘高祐子 岡本宣浩 土岐 真 高 儀容 小栗真人  
秋田千里 中村常之 犀川 太

4. 当院における川崎病急性期症例の群馬スコアの検討

京都第二赤十字病院 小児科

小林奈歩 清沢伸幸 木村 学 井上 聡 米田堅佑  
久保 裕 河辺泰宏 平尾多恵子 東道公人 藤井法子  
大前禎毅 長村敏生

セッションⅡ (病因など) 13:31 ~ 14:07

座長 鈴木啓之 (和歌山県立医科大学 小児科)

### 5. *Yersinia enterocolitica* 感染を認めた川崎病の1例

日野記念病院 小児科  
上原陽治  
済生会滋賀県病院 小児科  
佐藤 彩 米田真紀子 伊藤英介 杉本 徹  
滋賀医科大学医学部附属病院 小児科  
宗村純平  
岡山県環境保健センター 細菌科  
中嶋 洋

### 6. 当院の1年間の川崎病患者における抗エルシニア抗体・抗YPM抗体の上昇

姫路赤十字病院 小児科  
堀之内智子 稲熊洋祐 濱平陽史 江渕有紀 中川満理子  
百々菜月 城田佑子 松本真明 宮内寛子 多田慎吾  
向井祥代 藤原安曇 井上恵理子 上村裕保 高見勇一  
柄川 剛 高橋宏暢 五百蔵智明 久呉真章  
国立成育医療研究センター 免疫アレルギー研究部  
阿部 淳  
岡山環境保健センター  
中嶋 洋

### 7. 小児感染症との疫学的比較から推察される川崎病病原体の諸特性

東京大学生産技術研究所/JCHO 大阪病院(旧大阪厚生年金病院) 小児科  
長尾吉郎  
東京大学生産技術研究所  
占部千由 羽田野直道  
自然科学研究機構 核融合科学研究所  
中村浩章

### 8. 川崎病亜急性期の繰り返す発熱が、アスピリンにより誘発された Food Protein-Induced Enterocolitis Syndrome であった一例

天理よろづ相談所病院 小児科  
芝 剛 福島正大 吉村真一郎 土井 拓 前田真治  
三木直樹 山中忠太郎 南部光彦

セッションⅢ 不応例・巨大瘤 14:07 ~ 14:52

座長 城戸佐知子 (兵庫県立こども病院 循環器内科)

### 9. 過去3年間における川崎病 IVIG 不応例の臨床像

広島市立広島市民病院 循環器小児科

石口由希子 鎌田政博 中川直美 森藤祐次 岡本健吾

### 10. 川崎病急性期治療ガイドライン改訂後に冠動脈後遺症をきたした症例の検討

三重大学大学院医学系研究科 小児科

大橋啓之 三谷義英 澤田博文 淀谷典子 大槻祥一郎

早川豪俊 駒田美弘

三重県立総合医療センター 小児科

杉山謙二

鈴鹿中央総合病院 小児科

藤原 卓

国立病院機構三重病院 小児科

篠木敏彦

松阪中央総合病院 小児科

神谷敏也

伊勢赤十字病院小児科

一見良司

### 11. インフリキシマブ投与が著効した、2度の血漿交換療法にも不応の難治性川崎病の1例

大阪医科大学附属病院 泌尿生殖・発達医学講座小児科学教室

尾崎智康 小田中豊 松村英樹 岸 勘太 片山博視

玉井 浩

### 12. プレドニゾロン療法中に微熱が遷延し、巨大冠動脈瘤を生じた川崎病の一例

岡山大学病院 小児循環器科

平井健太 重光祐輔 福嶋遥佑 栄徳隆裕 栗田佳彦

近藤麻衣子 馬場健児 大月審一

### 13. 川崎病主要症状2/6で超巨大冠動脈瘤を形成した5か月女児の一例

和歌山県立医科大学 小児科

立花伸也 垣本信幸 末永智浩 武内 崇 鈴木啓之

吉川徳茂

紀南病院 小児科

渋田昌一

【特別講演 I】

14 : 55 ~ 15 : 45

座長 清水達雄 (北摂総合病院 小児科)

「川崎病冠動脈障害の遠隔期における問題点

～今、何が注目され、明らかとなってきたか～」

京都府立医科大学大学院医学研究科 小児循環器・腎臓病学  
教授 濱岡建城 先生

コーヒーブレイク

15 : 45 ~ 16 : 00

事務局報告

16 : 00 ~ 16 : 05

運営委員長 濱岡建城 (京都府立医科大学 小児循環器・腎臓病学)

セッションIV 重症合併症

16 : 05 ~ 16 : 50

座長 高橋邦彦 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

14. 川崎病急性期に脳症による意識障害と、多彩な不整脈を合併した  
Taussig-Bing anomaly/CoA 術後症例

広島市立広島市民病院 循環器小児科

中川直美 鎌田政博 石口由希子 森藤祐次 岡本健吾

広島市立広島市民病院 神経小児科

板村真司

15. 心筋炎、DIC を合併し集中治療を必要とした川崎病の一例

愛媛大学医学部附属病院 小児科

井上真依子 高田秀実 檜垣高史 太田雅明 千坂俊行

伊藤正範 石井榮一

愛媛県立新居浜病院 小児科

森谷友造

16. 経皮的人工補助循環を必要とした川崎病の一例

兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科

石原温子 稲熊洸太郎 松岡道生 鶏内伸二 坂崎尚徳

17. 当院における僧帽弁閉鎖不全、心不全をともなった川崎病の特徴

愛媛県立中央病院

山本英一 中野威史 渡部竜助 石田也寸志

愛媛大学医学部 小児科

檜垣高史

松山市民病院 小児科

小西恭子

市立宇和島病院 小児科

高橋由博

18. 重症川崎病における臓器不全合併例での当院での管理方法

一心不全・腎不全・呼吸不全・急性脳症症例の経験より一

兵庫県立塚口病院 小児救急科

高原賢守 河内晋平 山上雄司 菅 健敬 毎原敏郎

セッションV (遠隔期)

16:50 ~ 17:26

座長 糸井利幸 (京都府立医科大学附属病院 小児循環器腎臓科)

19. 貧血により心筋虚血が顕著となった冠動脈瘤合併川崎病既往の  
1 成人例

関西医科大学 小児科学講座

吉村 健 峰 研治 内山敬達 金子一成

関西医科大学 内科学第二講座

前羽宏史

国立循環器病研究センター 小児循環器科

津田悦子

20. 川崎病罹患後、成人期に冠動脈瘤および冠動脈狭窄病変を認めた 1 例

兵庫県立尼崎病院 小児循環器内科

稲熊洸太郎 坂崎尚徳 松岡道生 石原温子 鷄内伸二

国立循環器病研究センター 小児循環器科

津田悦子

21. OFDI にて川崎病冠動脈後遺症における早期動脈硬化が示唆された一例

京都第一赤十字病院 心臓センター 循環器内科

白石 淳 彌重匡輝 西川真理恵 柳内 隆 橋本 翔

伊藤大輔 木村雅喜 木下英吾 横井宏和 兵庫匡幸

島 孝友 沢田尚久 河野義雄

22. Hemoscope®による 3DCT 画像の CFD (Computational Fluid Dynamics) 解析

京都府立医科大学附属病院 小児循環器腎臓科  
久保慎吾 糸井利幸

セッションVI (要望演題：川崎病遠隔期の冠動脈病変の画像診断の進歩)  
17:26 ~ 18:26

座長 岸 勘太 (大阪医科大学附属病院 小児科)

23. 川崎病冠動脈障害における Dual-Source Computed Tomography (DSCT) の有用性

国立循環器病研究センター 小児循環器科  
辻井信之 津田悦子 石塚 潤 中島光一朗 黒寄健一  
国立循環器病研究センター 放射線診療部  
神崎 歩

24. MDCT を用いた川崎病冠動脈病変の経過観察

近畿大学 小児科  
篠原 徹 丸谷 怜 草野信義 今岡のり 井上智弘

25. 川崎病遠隔期の冠動脈病変の画像診断の進歩  
MR coronary angiography の進歩と冠動脈病変の進展

東京通信病院 小児科／八重洲クリニック  
鈴木淳子

26. 光干渉断層法 (OCT) で判明した川崎病遠隔期冠動脈病変の特徴

和歌山県立医科大学 小児科  
鈴木啓之 垣本信幸 末永智浩 武内 崇 吉川徳茂  
和歌山県立医科大学 循環器内科  
久保隆史 猪野 靖 赤坂隆史  
紀南病院 小児科  
渋谷昌一

27. 川崎病後遠隔期例、成人例の Virtual-histology IVUS 所見からの  
レッスン：川崎病既往成人の急性冠症候群との関連で

三重大学小児科  
三谷義英 大橋啓之 澤田博文 早川豪俊 駒田美弘

【特別講演Ⅱ】

18：30 ～ 19：20

座長 片山博視 （大阪医科大学附属病院 小児科）

「川崎病冠動脈病変に対するカテーテル治療後の長期予後」

福岡山王病院 循環器センター長

国際医療福祉大学 教授

横井宏佳 先生

閉会の挨拶

19：20 ～ 19：30

第39回会長 片山博視 （大阪医科大学附属病院 小児科）

第40回会長 城戸佐知子 （兵庫県立こども病院 小児循環器科）

帝人ファーマ株式会社

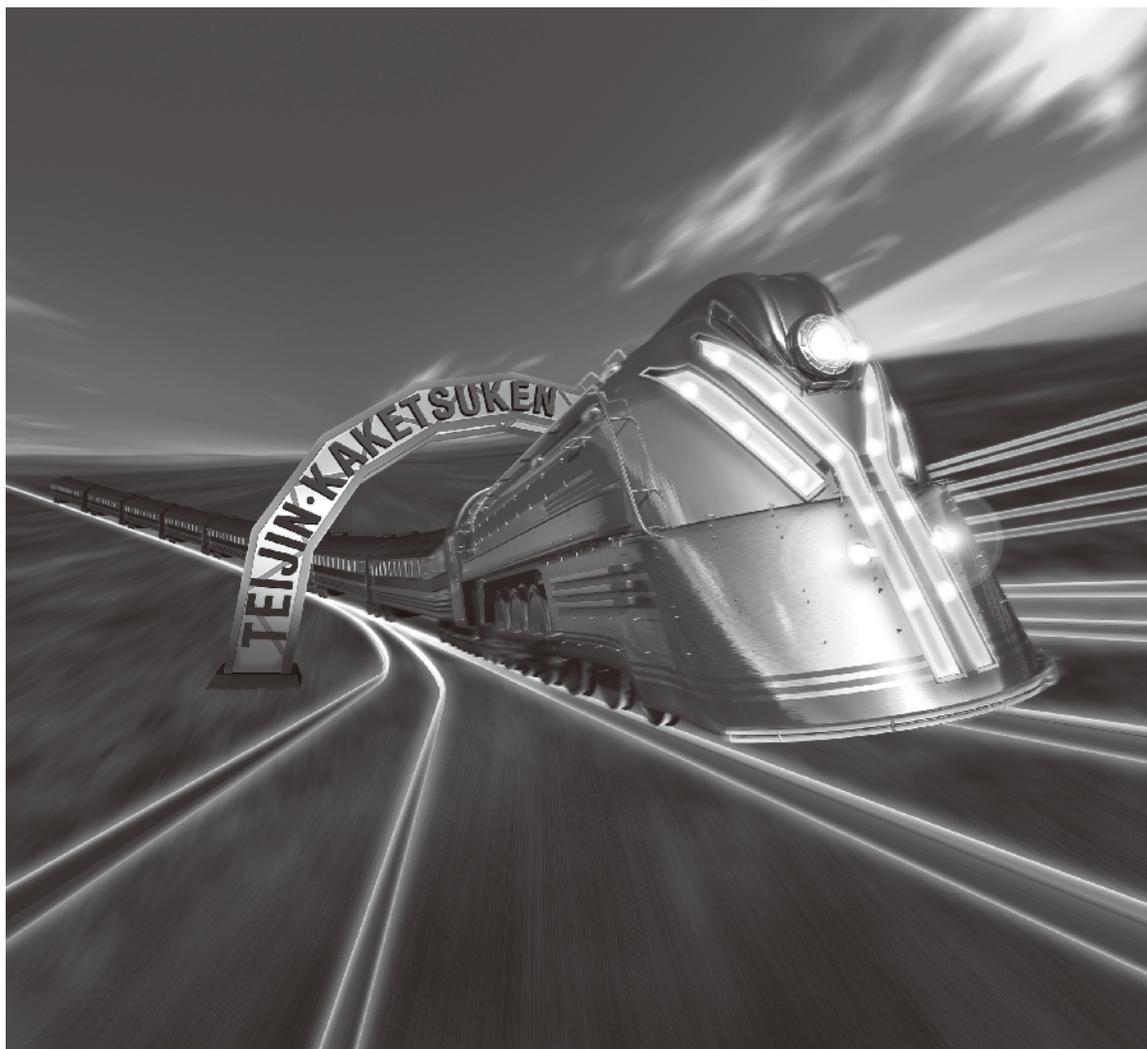
# 近畿川崎病研究会会則

2014年11月改訂

1. 名称  
近畿川崎病研究会(The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research)と称す。
2. 目的  
川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。
3. 事業  
1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する。その内容は、広く公表することを原則とする。  
2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。
4. 運営委員会  
1) 本会に次の役員を置く。

|        |     |
|--------|-----|
| ①運営委員長 | 1名  |
| ②運営委員  | 若干名 |
| ③会計    | 1名  |
| ④監事    | 1名  |
| ⑤名誉会員  |     |
| ⑥顧問    |     |
| ⑦特別顧問  |     |

  
2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。  
3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任を妨げない。  
4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末(3月)をもって退任とする。  
5) 年会費を3年間滞納した場合は、継続の意思がないとみなし退任とする。運営委員会・研究会に3年連続欠席の場合は、継続の意思の確認をもって退任とする。  
6) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。  
7) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。  
8) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。  
9) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。  
10) 監事は本会の会計及び資産を監査する。  
11) 名誉会員は運営委員長が運営委員会に諮り推薦される。名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。  
12) 顧問は運営委員長が運営委員会に諮り名誉会員の中から会の運営上必要と認められた者とし、運営委員会に出席できる。  
13) 川崎病に関して広い知見をもつものを特別顧問としておく。特別顧問は、本会の運営等について助言をすることができ、任命は、運営委員長が運営委員会に諮り行うこととする。
5. 会員  
1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。  
2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。
6. 学術集会の発表者の制限  
学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。
7. 会計  
1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。  
2) 年会費は3,000円/人、参加費は1,000円/人とする。  
3) 名誉会員、顧問および特別顧問は年会費を要しない。
8. 会則の変更  
本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。
9. 事務局  
本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。  
京都府立医科大学 小児循環器・腎臓科  
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465



血漿分画製剤 特定生物由来製品 処方箋医薬品<sup>注</sup>

献血 静注用人免疫グロブリン製剤



**献血ベニロン-I** <sup>®</sup>

〈乾燥スルホ化人免疫グロブリン〉

薬価基準収載

生物学的製剤基準

注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

静注用 500mg  
 静注用 1000mg  
 静注用 2500mg  
 静注用 5000mg

「効能・効果」「用法・用量」「禁忌(原則禁忌を含む)」「使用上の注意」等については  
 製品添付文書をご参照ください。

販売

**TEIJIN** 帝人ファーマ株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号  
 【資料請求先】学術情報部 ☎ 0120-189-315

製造販売

**化血研** <sup>一般財団法人</sup> 化学及血清療法研究所

〒860-8568 熊本県北区大津一丁目6番1号  
 資料請求先: 一般財団法人 化学及血清療法研究所

VEN905-MP-1411-1  
 2014年11月作成